

はじめに

昨年を振り返ると、2月初旬に「北京冬季オリンピック」が開催されました、ロシアのプーチン大統領と中国の習近平国家主席が開会式で親しそうにしていた写真が気になりますが、日を経ずして2月24日ロシアによるウクライナ侵攻が開始されました、首都キーウの陥落も時間の問題かと見られていた当初の予想に反し、昨今長期戦の様相を帯びています。

7月8日昼、参院選の応援演説中、銃撃により安倍元総理が死亡という衝撃的な事件、その中で浮彫になった政界と旧統一教会問題しっかり総括されるのか見守るのは主権者です。

円安の問題です、2022年初めは115円程度だったものが、10月中ごろには四半世紀ぶりの150円台となり、輸入物価の高騰が消費者物価に転嫁され、消費者に直接ぶつけられました、この責任は誰なのだ。

地域の懸案事項は、引き続き2019年末以来のコロナの影響でしょう、昨年の2月初め1日当たりの感染者数が10.5万人を記録し、その後減少傾向のなか3月16日に「万防が解除」されました、その後第7波襲来で感染者数は8月中旬に1日当たり26.1万人の過去最多を記録、今年の年初めピーク24.5万人の第8波となり、その後減少傾向にあります、政府はゴールデンウィーク明けの5月8日(月)感染症の分類を「2類感染症」から「5類感染症」に変更するとの事です。

各職役員の皆様1年間ご苦勞様でした、今後ともご協力よろしくお願ひします。

さてこの様な状況下、自治会活動はどうなるのか、皆さん3年分の齡をとりました、3年前には戻れません、この夏「ふるさと祭り」の開催を検討しています、先ずは実行委員の募集から、皆さんの参加をお願いします。

赤坂台校区連合自治会 会長 石飛 明夫

令和4年度役員名簿

会 長	石飛 明夫	副会長	津川 政義	副会長	早川 泰史
書記長	山本 政樹	書 記	中山 英治	書 記	清水 基広
会 計	矢野 信夫	会計監査	北野 國博	会計監査	桂 昭則
幹事役員	川脇 保子	藤原 久司	山内 和富	長田 和己	森口 晃行
	小西 岳史	高橋 誠	児嶋 修	山本 政樹	近藤 弘美
	串松 伸子	西川 文子	松下 敬	川口眞利子	福西 啓子
	井上雄一朗	川岸 桂子	岸田 麻里	山川 仁	馬場 啓允
	和久利正博	楠本 勝也	富士谷悦男	中村美佐子	小田原 宏
	西村 清孝	内山 好美	細川 真弓	天堀 和衛	新倉 吉則
	西川 雅文	伊藤 晋			
スポーツ 推進委員長	鈴木 美穂	防災委員長 兼務 ふるさと祭り実行 委員長	中山 英治	花クラブ	島崎 光子